

令和 3年度予算見積調書

課室名: 防犯・交通安全課

担当名: 防犯・犯罪被害者支援担当

内線: 2944

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B69	犯罪被害者等支援体制の整備促進事業費			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	防犯のまちづくり推進費	
事業期間	平成30年度～ 令和 4年度	根拠法令	犯罪被害者等基本法、犯罪被害者等支援条例 防犯のまちづくり推進条例	宣言項目				SDGsゴール	5, 16
				分野施策			020410 防犯対策の推進と捜査活動の強化	SDGsターゲット	5-2, 16-3
1 事業概要			5 事業説明						
犯罪被害者等が受けた被害の早期回復及び軽減を図り、再び平穏な生活を営むことができる社会の実現を図るため、次の事業を実施する。 (1) 性犯罪被害者支援の充実強化 19,662千円 (2) 市町村支援の強化 570千円 (3) 彩の国犯罪被害ワンストップ支援体制機能強化事業 4,735千円 (4) 犯罪被害者支援のための広報啓発事業 1,250千円			(1) 事業内容 ア 性犯罪被害者支援の充実強化 19,662千円 ・アイリスホットライン（24時間365日対応）のフリーダイヤル化、Webからの相談受付対応 ・警察届出前の証拠保全のため、性犯罪被害に関する証拠採取キットを医療機関に配備 ・被害後の速やかな支援が被害の回復、軽減につながるため、周知広報を強化 ・基幹6病院及び埼玉県看護協会の看護師等を対象に性暴力被害者支援看護職（SANE）を養成 イ 市町村支援の強化 570千円 ・市町村総合的対応窓口の体制強化を図るため、研修、会議及び勉強会等の開催 ・保育、介護、家事等の支援が必要な被害者等に対し生活支援を実施し、結果を市町村にフィードバックする。 ウ 彩の国犯罪被害者ワンストップ支援体制機能強化事業 4,735千円 ・ワンストップ支援センターの代表電話のフリーダイヤル化 エ 犯罪被害者支援のための広報啓発事業 1,250千円 ・犯罪被害者支援学生ボランティアAyaによる広報啓発活動 ・犯罪被害者支援キャンペーンの実施 (2) 事業計画 ア 相談電話・医療費・法律相談・ワンストップ委託 4月～翌3月 イ アイリス普及啓発 4月 啓発品企画、調達 7月 高校へ配布、キャンペーン ウ 市町村研修等 4月、6月、10月 エ 生活支援事業 4月 委託 翌3月 データ提供 オ 被害者支援週間一斉キャンペーン 4月 協力依頼 9月～12月 被害者週間を中心に実施 (3) 事業効果 ア 性被害に遭った方に寄り添った支援体制の整備によるセーフティネットとしての体制強化 イ 市町村におけるきめ細かな犯罪被害者支援の実現 ウ 犯罪被害者ワンストップ支援体制の強化 エ 被害者の置かれた現状と支援の大切さに関する県民、事業者の理解増進						
2 事業主体及び負担区分									
(1) (国1/2、県1/2) 但し、医療費公費負担分は (国1/3、県2/3) (2)～(4) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況			なし						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			なし						
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	26,217	国庫支出金	9,400					16,817	△2,174
前年額	28,391		10,130					18,261	